



第**38**期 中間報告書

2012年6月1日 ▶ 2012年11月30日

Contents

株主の皆様へ

セグメント別の概況

トピックス

決算概要(連結)

株式の状況/会社概要

経営理念

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

グローバル市場での価格競争力と製品提案力の
一層の強化により、高い収益性を持つ組織体制
を構築し、「持続的な成長」を目指してまいります。

～ブランド・ステートメント～

Light Solutions for Life™

創立35周年を迎えた今こそ、「光ソリューション・カンパニー」として
「新たな価値」を創出し、これからも皆様の快適な「暮らし」を支える
光技術・光産業の発展・拡大に貢献すること。
これが、シグマ光機グループの市場とお客様への約束です。

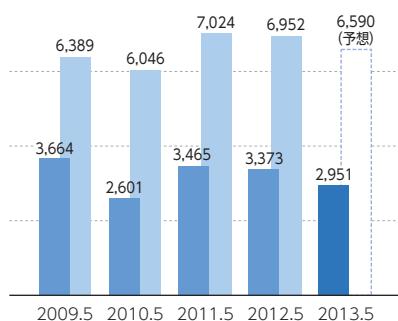


代表取締役社長 森 玲二

売上高

29億 51百万円
(前年同期比12.5%減)

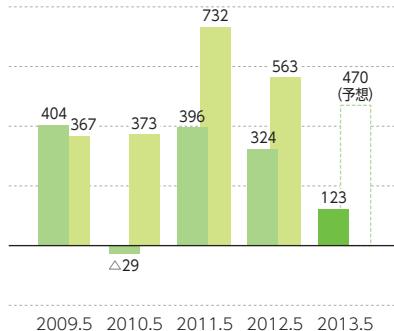
■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位:百万円)



経常利益

1億 23百万円
(前年同期比61.8%減)

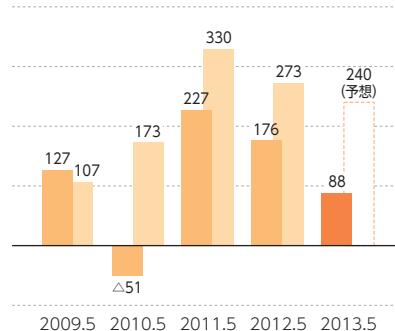
■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位:百万円)



四半期(当期)純利益

88百万円
(前年同期比49.8%減)

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位:百万円)



Q 上半期が減収減益となった要因をお聞かせください。

A 主力の研究開発分野における予算執行の緩慢な動き、産業分野での設備投資の低迷が影響しました。

当社グループが主力とする大学・官公庁及び民間の研究開発分野においては、光学要素部品、光学ユニット製品や光学システム製品の需要は増加傾向にあるものの、研究開発予算の執行が緩慢な動きとなり、受注が伸び悩みました。産業分野においても、携帯端末市場に関連する一部の半導体業界やFPD業界、及びバイオ業界での光学要素部品の需要は堅調に推移しましたが、全体としては新規の設備投資や研究開発投資が総じて慎重な動きとなりました。

Q 通期の見通しについてはいかがでしょうか。

A 需要は増加傾向にありますが、依然として景気動向は不透明であり、慎重な動きが予測されます。

下半期も当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が継続すると思われます。大学・官公庁及び民間の研究開発分野からの需要には増加傾向が見られますが、産業分野は依然として慎重な動きが予測されるため、通期の業績予想を下方修正し、小幅の減収減益を見込んでおります。しかしながら、下半期は3月決算期に向けた需要期を迎え、光学要素部品、光学ユニット製品等の特注品の需要の拡大が見込まれるとともに、一層のコスト削減を推進することで、売上・利益ともに上半期に比べて回復傾向になると予想しております。

Q 成長戦略の柱の1つに掲げている「世界の成長市場への進出」について、今後の方針をお聞かせください。

A シグマ光機グループの総合力を活かして、グローバル市場への展開を加速いたします。

シグマ光機グループの成長戦略の柱の1つである「世界の成長市場への進出」として、今後、欧州の研究開発市場、シンガポールやタイ、インド等の新興国地域の研究開発市場や産業市場等での事業展開を加速してまいります。

世界の成長市場への進出に向けては、米国の生産・販売拠点である「OptoSigma」、中国の生産拠点である「上海西格瑪光機」という当社グループの総合力を最大限活用して展開してまいります。当社グループの強みである商品企画・開発から試作、検証まで一貫して対応可能な製品開発力とグループ力を活かした「生産改革」によるコスト対応力を強化し、高性能化と低価格化というお客様のニーズにきめ細やかに対応する提案型のソリューション営業を展開してまいります。

また今後は、当社グループの事業姿勢を明文化した新しいブランド・ステートメント「Light Solutions for Life」を積極的に展開して、グローバル市場でのブランド認知度の向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

02 セグメント別の概況

▶ 要素部品事業

26億28百万円（前年同期比11.0%減）

■ 売上高（第2四半期累計期間）

（単位：百万円）



大学・官公庁向け研究開発分野では、光学要素部品の需要は増加傾向にあるものの、研究開発予算の執行に対する遅延傾向が見られました。また、民間企業向け研究開発分野及び産業分野での検査・製造装置の組み込み用途においては、バイオ業界向けの自動位置決め装置及び、医療分野、通信分野向けの光学素子製品は一部堅調に推移するも、半導体・FPD・エネルギー市場向けのレーザ加工機組み込み用途やアライメント調整用途での手動・自動位置決め製品及び光学素子製品が生産設備投資の抑制等もあり、低調に推移いたしました。

▶ システム製品事業

3億22百万円（前年同期比23.4%減）

大学・官公庁向けバイオ関連製品や民間企業向け研究開発用光学ユニット製品及び光学測定装置の需要は横ばいで推移しております。産業分野では、携帯端末市場の需要増加により、半導体市場向け検査装置用ユニット製品やモバイル用FPD市場向けレーザ加工機用ユニット製品の引き合いが一部増加傾向となっておりますが、国内の新規設備投資、研究開発投資は依然慎重な動きが継続しており、受注が伸び悩みました。

■ 売上高（第2四半期累計期間）

（単位：百万円）



》 海外グループの概況

オプトシグマコーポレーション（米国・生産販売会社）



バイオ・メディカル分野、宇宙・航空分野等、米国の伸び代があるマーケットからの受注増に対応するため、先進のクリーンルーム設備やコーティング生産設備を活かし、特注対応力の一層の強化と「お客様満足度No.1」を目指して活動しております。

上海西格瑪光机有限公司（中国・生産販売会社）



9月12、13日に上海で行われた日系企業向け商談会に「上海西格瑪光机」として初めて出展しました。シグマ光機グループの一員として認知度の向上を図るとともに、創立20周年を迎えるに当たり、次なるステップへ大きな一歩を踏み出しました。

上半期 主要イベント



「お客様の欲しいを形に」活動の推進

「より高精度の製品を、より早く、より安く。」そんな研究開発・設計者のニーズに応えるべく、当社では、商品企画・開発から試作、検証まで一貫してサポートする体制を整えています。さらに「使いやすい」などカタログでは見えない性能面でも満足度向上を目指し、創業以来重ねてきた最先端の研究・開発機関との連携・協業等を深め、試作段階からお客様とともに製品を「創り込んで」いく「お客様の欲しいを形に」活動を積極的に推進しています。



次世代を育成する産学連携の教育研修プログラム

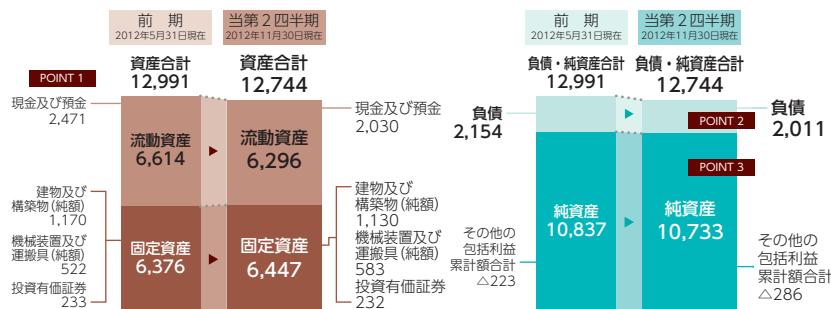
2012年10月、本年度も東京大学キャンパスにて『先端レーザー科学教育研究コンソーシアム (略称：CORAL)』の授業が行われました。CORALは、2007年4月に発足した大学における光科学分野の人材教育を目的とした産学連携の大学院教育プログラムで、当社は発足当初からこのプログラムに参画しています。今回は、『博士課程教育リーディングプログラム』が始まったこともあり、合算人数109人と多くの学生が当社の授業を受講いたしました。



04 決算概要（連結）

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



POINT 1

資産の変動

流動資産は、有価証券（金銭信託）が2億8千7百万円、棚卸資産が3千3百万円増加いたしました。現金及び預金が4億4千万円、受取手形及び売掛金が2億1千2百万円減少したことにより、前期末比で4.8%減少いたしました。

固定資産は、前期末比で1.1%増加いたしました。

POINT 2

負債の変動

流動負債は、長期借入金の1年内返済予定額が5千7百万円増加いたしました。支払手形及び買掛金が1億6千万円、未払法人税等が6千万円減少したことにより、前期末比で12.7%減少いたしました。

固定負債は、前期末比で5.6%増加いたしました。

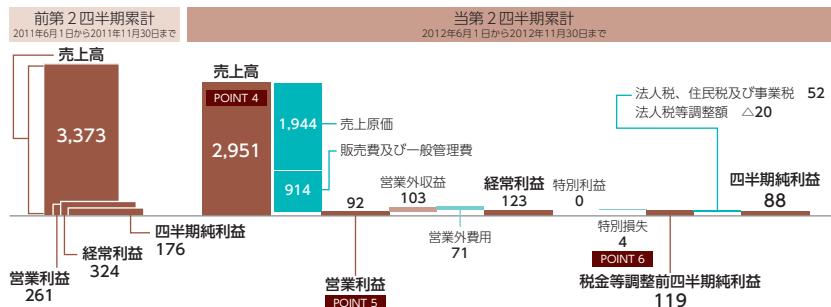
POINT 3

純資産の変動

純資産は、前期末比で1.0%減少し、自己資本比率は84.0%となりました。

連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



POINT 4

売上高の動き

世界市場の景気低迷を背景に、大学・官公庁及び民間企業向け研究開発分野での国家予算の執行遅延や民間予算の凍結、また産業分野での半導体・FPD市場をはじめとした新規設備投資抑制の影響を受け、売上伸び悩みました。

POINT 5

営業利益の動き

生産の効率化、内製化の促進、購買機能の強化等による生産コストの削減や全般的な経費削減に取り組むも、販売促進費や試験研究費の増加等もあり、減収による利益の落ち込みをカバーするには至らず、減益となりました。

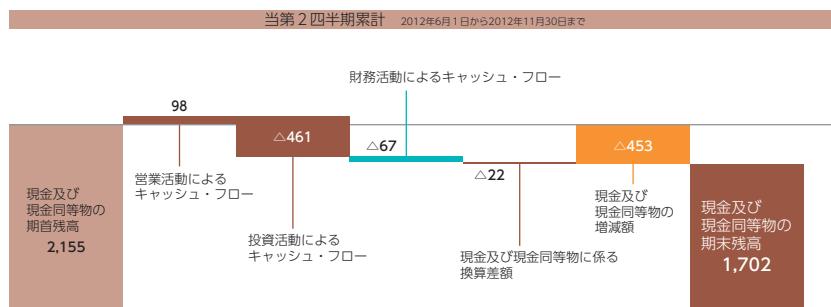
POINT 6

特別損失の内容

売却予定の投資不動産について、減損損失を計上いたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



POINT 7

キャッシュ・フローの状況

営業CFは、法人税の支払い及び仕入れ債務の支払いにより減少するも、売上債権の回収により増加いたしました。

投資CFは、有価証券（金銭信託）の純増加、及び有形無形固定資産の取得により減少いたしました。

財務CFは、配当金の支払により減少いたしました。

■ 株式の状況 (2012年11月30日現在)

- ①発行可能株式総数 32,000,000株
 ②発行済株式の総数 7,811,728株
 ③株主数 3,040名
 (前期末比27名減)
 ④主要株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
浜松ホトニクス株式会社	1,000	13.27
森 聡二	717	9.52
シグマ光機取引先持株会	439	5.83
竹田和平	233	3.10
シグマ光機従業員持株会	219	2.90
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.69
富国生命保険相互会社	200	2.65
株式会社サンライズクリエート	164	2.18
竹田本社株式会社	152	2.02
杉山大樹	146	1.93

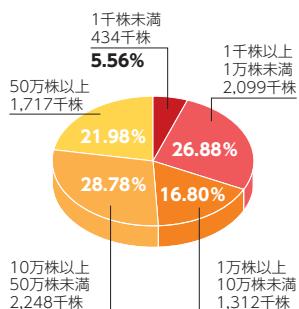
- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 3. 持株比率は、自己株式 (279,328株) を控除して計算しております。

■ 会社概要 (2012年11月30日現在)

社名	シグマ光機株式会社	
本社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2	
設立	1977年(昭和52年)4月	
資本金	26億2,334万円	
従業員数	358名	
役員	代表取締役社長	森 聡 二
	専務取締役	近 藤 洋 介
	取締役	水 村 峯 夫
	取締役	原 口 康 史
	取締役	山 口 秀 一
	取締役	菊 池 健 夫
	取締役	田 坂 隆 昌
	取締役	坂 本 繁
	常勤監査役	大 野 昭 夫
	常勤監査役	磯 部 文 昭
	監査役	大 野 隆 久
	監査役	野 崎 昭 司

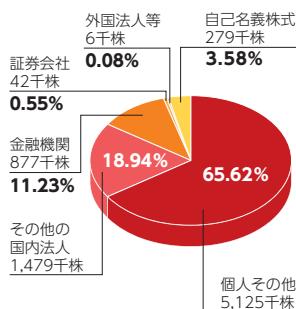
- (注) 1. 坂本 繁氏は社外取締役であります。
 2. 大野昭夫氏、大野隆久氏及び野崎昭司氏の3氏は社外監査役であります。
 3. 常勤監査役 大野昭夫氏は独立役員であります。

所有株数別株式分布状況



※自己名義株式 (279千株) を含んでおります。

所有者別株式分布状況



❖ 主な事業所

- 本社・日高工場 ● 東京本社 ● 大阪支店
- 九州営業所 ● 能登工場 ● 技術センター

❖ 関連会社

- オプトシグマコーポレーション
- 上海西格瑪光机有限公司

当社の中間報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。

文字使用例

(従来) S36 (今回) S36

株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会 毎年8月開催
基準日 定時株主総会 毎年5月31日
期末配当金 毎年5月31日
中間配当を行う場合は、毎年11月30日

単元株式数 100株
公告方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
電子公告URL <http://www.sigma-koki.com/public/main.html>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)  **0120-782-031** (通話料無料)
(インターネット ホームページURL)
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご注意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

(特別口座 口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社
(郵便物送付先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)  **0120-288-324** (通話料無料)

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7713

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

 **シグマ光機株式会社**
東京本社 東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221 (総務部)

UD
FONT

